

## 平成21年度 事務部職員研修 (Staff Development) 報告書

9月4日(金)の午後から大和キャンパス多目的室において、平成21年度事務部職員研修(SD)が開催されました。大和・太白両キャンパスの職員約50名が、外部講師による2つの講義を受講し、職員の能力向上に向けて研鑽に励みました。

開会にあたり、馬渡理事長から挨拶があり、大学職員として、常に県民視線を忘れずに学生の応対等、業務に励んでいただきたい旨の話がありました。



研修の前半は、「戦略経営の確立、その推進を担う新たな職員の役割」と題して、日本福祉大学篠田常任理事から講演があり、大学を巡る最新の動向を踏まえ大学の役割や直面する課題を解決していくためには戦略経営の確立が必要であり、職員は業務処理型から政策型に転換していかなければならないことなどについて日本福祉大学での取り組み事例を用いて具体的な説明がありました。

後半は「接遇 ビジネスマナーとコミュニケーション」と題して、株式会社藤崎ビジネスサービス遠藤弘子マネージャーの講演があり、顧客となる学生の満足を得るためには、接遇を学び、実践することが重要であり、大学におけるホスピタリティの向上につながると話され、印象づくり、挨拶、言葉遣い、電話応対、コミュニケーションの手段等、接遇の基本的なトレーニングを行いました。



最後に、保理理事兼事務部長から、今後はより一層の業務改善に取り組むとともに、企画提案型の意識を持って業務を遂行してほしいと講評がありました。